

日々の田高（ユニバーサル絵本 UniLeaf を紹介します。）

今回は、図書室にある、ユニバーサル絵本 UniLeaf の紹介をします。

ユニバーサル絵本 UniLeaf は、目が見える人（晴眼者と言います）も目が見えない人も、一緒に楽しむことができる絵本です。

この絵本の作り方は、次の通りです。

まず、絵本を、1 ページずつばらします。次に、絵本の大きさに透明シートを一枚一枚切り、シートに点字を打ちます。最後に、絵本の元のページの上に透明シートを挟み込み、再製本し、完成です。

これにより、目が見える人も目が見えない人も、一緒に絵本を楽しむことができます。

一緒に楽しむ時間を作り、お互いに慣れてもらおうと、2008 年からこの取り組みが始まったそうです。この活動を始められた代表の大下利栄子さんと本校の教職員が知り合いで、本校の高校生にも活動を知ってほしいという思いから、本校の図書室に紹介コーナーが作られたそうです。関心がある方は、ぜひ図書室にお越しください。詳細は、こちら <https://unileaf.org/about-unileaf>

ラジオ番組の番組表などでは、拡大文字と点字を併記しているものもあります。地元の図書館に行って調べてみるのもいいかもしれません。

なお、視覚障害者と晴眼者が同じ時間をともしながら美術作品を鑑賞することを紹介した「[目の見えない白鳥さんとアートを見に行く](#)」という書籍も本校の図書室にあります。関心がる生徒の皆さんは探してみてください。

